

報道関係各位
プレスリリース

2023 年 7 月 20 日

千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座 Vol.37
「春陽会誕生 100 年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」
実は見逃せない美術団体だった！

日比谷図書文化館は 9 月 29 日（金）14 時より日比谷カレッジ「春陽会誕生 100 年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」実は見逃せない美術団体だった！」を行います。

春陽会は、画家が会員となって運営する美術団体で、一般に公募を行いながら展覧会を開催し、研究会などの事業を行ってきた歴史ある組織です。過去には、岸田劉生、中川一政、岡鹿之助だけでなく、小杉放菴、梅原龍三郎、萬鐵五郎、木村莊八、長谷川潔など、日本近代美術史に登場するような画家たちが個性を競ってきました。また、春陽会の美術展では、油彩を加え、素描、挿画、版画などが出品され、形式にとらわれず発表する自由さがありました。常に画家たちの個性を尊重し、自由活発な活動を後押しし続けている、画家による画家のための団体である春陽会の大正末から 1950 年代頃までの展開を、春陽会の美術展出品作や裏話などをまじえて紹介します。



岡鹿之助《山麓》1957 年、京都国立近代美術館

講師 田中 晴子（東京ステーションギャラリー学芸室長）

1991 年、東武美術館学芸員になる。2001 年 4 月より公益財団法人東日本鉄道文化財団の運営する東京ステーションギャラリーの学芸員に転職。学芸課長を経て現職。「生誕 120 年 木村莊八」(2013 年)、「動き出す！絵画 パール北山の夢」(2016 年)、「没後 90 年岸田劉生展」(2019 年)＊といった近代洋画の展覧会を担当。「もうひとつの江戸絵画 大津絵」(2020 年)＊、「河鍋曉斎の底力」(2020-2021 年)、「福富太郎の眼」(2021 年)、「大阪の日本画」(2023 年)が近年担当展。＊は 2020 年美連協大賞 カタログ優秀賞（各論等参加）

開催概要

- 日時：9 月 29 日（金）14:00～15:30（13:30 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下 1 階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200 名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000 円（千代田区民 500 円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：ホームページのお申し込みフォーム、電話（03-3502-3340）、ご来館（1 階受付）いずれかにて、①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号（「お申し込みフォーム」からの場合は④メールアドレス）をご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉 千代田区立図書館 日比谷図書文化館

広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、岡本 okamoto-yoriko@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL:03-3502-3340/ FAX:03-3502-3341

ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>